

様式1

令和7年度 年度事業評価書

評価対象期間	令和7年4月～令和8年3月
施設名	河原町お城山展望台
指定管理者名	株式会社 風土資産研究会
指定管理期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
施設所管課名	経済観光部 観光・ジオパーク推進課

1. 事業評価

確認する内容		指定管理者	施設所管課		
		自己評価	評価	確認方法	備考
Ⅰ. 公共サービスの実施状況					
1	仕様書・事業計画に基づく事業が適切に行われたか	3	3	書面聞き取り	
2	基準に基づき、適切な人員配置がなされたか	3	3	書面聞き取り	
3	業務に必要な研修や職員の育成・指導が適切に行われたか	3	3	書面聞き取り	
4	平等利用が確保され、利用者から利用許可に対する苦情がないか	3	3	書面聞き取り	
5	利用実績に関する帳簿が作成され適正に管理されているか	3	3	書面聞き取り	
6	減免対象者は、適切に減免しているか	適切	適切	書面聞き取り	
7	地域の活性化につながる社会貢献活動等への配慮はあるか	4	4	書面聞き取り	「春の茶会、月見会」等、地域イベントの企画・開催、周辺学校への活動協力、地域の美化・保全活動への参加を積極的な活動が見られる。
8	満足度調査を実施し、その結果は妥当か	3	3	書面聞き取り	
9	利用者の苦情等を把握し、業務改善を実施しているか	3	3	書面聞き取り	
10	利用者拡大のための改善・努力がなされているか	4	4	書面聞き取り	TV等で広報PRを行い、利用者拡大に努められている。
Ⅱ. 施設の維持管理の実施状況					
11	清掃・衛生管理は適切に行われているか	3	3	書面聞き取り	
12	備品・設備・施設の点検・修繕は適切に行われたか	3	3	書面聞き取り	
13	消耗品の補充が適切に行われているか	適切	適切	書面聞き取り	
14	再委託先の業務を適切に管理しているか	3	3	書面聞き取り	
15	点検によって異常等が認められたとき、速やかに適切な処置が実施されているか	3	3	書面聞き取り	
Ⅲ. 施設の経営状況					
16	事業収支は妥当であるか	3	3	書面聞き取り	
17	施設の運営に要する経費節減の努力は、適正になされているか	3	3	書面聞き取り	
Ⅳ. 法令等の遵守状況					
18	個人情報の管理は適切に行われたか	3	3	書面聞き取り	
19	市税、国税、社会保険料等の滞納はないか	滞納なし	滞納なし	書面聞き取り	
20	労働関係法規(労働基準法、労働安全衛生法、最低賃金法など)を遵守しているか	適切	適切	書面聞き取り	
21	設備、施設の法定点検、必要な届出は実施されているか	適切	適切	書面聞き取り	

確認する内容	指定管理者	施設所管課		
	自己評価	評価	確認方法	備考
V. 施設運営に関する情報の公開				
22	HP等可能な媒体を利用して情報公開しているか	3	3	書面聞き取り
23	指定業務に係る文書の保存が適切に行われ、情報公開請求等に対応できるか。	3	3	書面聞き取り
24	市への報告体制が確立されているか	3	3	書面聞き取り
VI. リスク管理の状況				
25	基準に基づき保安・警備業務が適切に行われたか。鍵の管理は適切か	3	3	書面聞き取り
26	緊急体制マニュアルは整備されているか、緊急時体制は職員に理解されているか	3	3	書面聞き取り

2. 指定管理者の経営状況に関するコメント

指定管理者	今年度(令和7年度)は令和3年から始まった4期目の指定管理最後の年だった。指定管理期間の半分以上が新型コロナ禍と通行止めの影響で来場者数が低迷していたが、令和5年度から徐々に回復して、伸び率は前年度には及ばなかったものの目標数に近づくことが出来た。特に全国的にインバウンド客含む観光客や帰省客等の動きが活発になり、また広報を強化した効果もでたのか入館者数増加につながった。前年度比12%増、迂回路前対比では57%増の増加率だった。しかし、コロナ以前の数字よりまだ下回っているため、完全に回復はしていない。収益の方は、前年度に引き続き65歳以上の利用者が多かったが、入館料売上げは増加した(前年度比:9%増)。販売売上げも、前年度比:32%増加した。経費については、物価高騰や利用者の増加に伴う固定費・イベント等の関連費用が増加したが、前年度よりさらに節減に努め黒字決算になった。自己資本比率、流動比率、固定比率、総資本経常利益率は前年度より安定している。
施設所管課	利用者数も増えており、昨年度に引き続き黒字収支となっている。 引き続き、利用者拡大に向けた施設運営をお願いしたい。

3. 自主事業の実施状況に対するコメント

指定管理者	◆河原城及び河原地域の魅力を情報発信できる企画の実施。 ❖入館者数も増加しイベントもコロナ前の内容に戻すなど通常の開催が出来るようになった。 ❖山陰海岸ジオパーク南部地域エリア拡大の活動については今年度の活動について鳥取市担当課と協議した結果、地域の機運が下がらないように、緩やかな継続という事だったが、下半期(10月)にジオパーク推進協議会との協議で令和14年にエリア拡大を目指す行動計画が打ち出され、若干機運が下がった関係者に活動意欲が戻りリスタートの機会を得た。 ◆特別展示の開催(地域展2回、その他4回) ❖前年度に続き、展示期間を例年より長くして多くの来場者に観覧して頂けるよう配慮した。特に今年は県外からの観光客が7～8割程度を占めていたので、県外者に河原地域の展示紹介を観覧して頂けて良かった。 ◆その他のイベント ❖継続イベント「春フェスin河原城(旧・お茶会)」に連動した町内の観光スポットを巡るQRクイズラリーや恒例となった「ご当地シリーズ」の新企画を開催した。❖かわはら七夕まつり(17年目)河原城及び中央公園の来訪機会拡大の為に毎年開催。開催期間7～8月(お盆まで)町内の幼稚園、3小学校・福祉施設の協力で開催。 ❖体験観光は7/年、実施。前年度よりも開催回数が少なかった。原因はやはり天候に一番影響される。そのためバスツアーなどを中心に切り替えているが、バス料金も値上げしているので経費の事を考えるとバスツアーばかりは出来ない。また天候は当日だけの事ではなく、梅林公園の梅の生育にも影響があり、収穫の時期・量などに偏りが出来て近年では開催が難しくなっている。梅林公園については中央公園の所管課に引き続き相談・支援を依頼して整備を実現して頂きたい。 ❖ものづくり教室は4/年、実施。館内の構造上、館内でのワークショップ等の開催は難しく、唯一「ランプシェード作り」と「クリスマス・リース作り」のみをここ数年の定番として館内で行い、その他は町内の施設に出張して開催している。 ◆商品開発については、前年度開館30周年記念で企画した「御城印」の販売が好調で、第2弾として「大河ドラマ・豊臣兄弟」にあやかった御城印(次年度のみの限定販売)を企画した。 ❖元旦初日の出行事(19年目)は今年度も年末の積雪などで来場者数はコロナ前ほどではなかったが、一定数の来場者(リピーター多数)でマスコミ取材(テレビ放送等)もありPRになった。 ❖節分・豆まき行事(15年目)今年度は大雪の傾向が多く、開催前日まで積雪がありイベント広場の除雪作業も大変だったが、来場者数があるのかの方が心配されたが、当日は天候も回復し進入路の除雪も河原支所の協力を得て、賑やかに開催できた。 ◆地域振興については、例年通り美化・保全活動など地域の協働作業に参加。町内の催事運営協力はまちづくり協議会や商工会等に協力した。以下が主なもの。 ❖あゆ祭り:第43回大会(実行委員会参加17年目:広報・制作物・印刷物デザイン・ステージ企画・準備・運営・当日進行・その他等)昨今の酷暑の対応や内容の見直し、運営の在り方(実行委員会継承者)などを協議しながら、開催した。花火大会は、今年度も協賛金が多く前回大会より豪華なものとなり地域住民はじめ、来場者にも大変好評だった。また、「子供あゆ太鼓」指導を町内3小学校に、中学校では「若鮎太鼓」の指導を行った。 ❖学校教育協力では、河原中学校1～3年生の総合学習時間で、郷土史・文化・くらし・自然などの外部講師として授業をした。15年以上続く「河原町の未来を語る会」(5・6年生、中学1年)や河原中学校の「CHA×3プログラム(3年目)」(県教育委員会)への協力など。毎年恒例の河原地域教職員夏季研修の講師協力は5年計画の期間が終了し、今年度は各学校または個人グループ等の単位でフィールドワークの講師を務めた。河原中学校の「若鮎太鼓」の指導指導では、鳥取県代表に選ばれ全国中学生文化祭に参加した。 ❖山陰海岸ジオパーク南部地域エリア拡大の活動については、上記にも述べたように、明確な目標地点に向かい活動を継続することが出来るようになり、引き続き各地域のガイド団体・個人等との情報交換や活動相談などを実施した。河原城のイベントとしては、ジオと歴史・文化・生活・防災などとの関連性をしっかり理解して頂けるようなストーリー性のあるのトレッキングやバスツアーなどが前年度後半から急激に評価が上がり、数居の高いジオパークに対して自然な形で普及啓発が進んでいる実感がある。ジオを前面に出していない事もこう結果に繋がっているのかもしれない。今年度はツアーの募集が数日で定員になるので複数回開催することになった。前年度に続き、各地域の新しいコース作りの為のフィールドワークも進んだ。(南部地域以外との市内・八頭・若桜・若美なども含む)
施設所管課	地域イベント等、河原地域の魅力向上を積極的に行い、施設利用者数の拡大にも取り組まれている。 冬季には積雪の影響もあり、例年利用者が少ない傾向の中、施設PRを行い、利用者獲得に取り組まれたことは評価できる。

4. 総括コメント

指定管理者	◆令和7年度は全国的に一層消費活動が活発になり、またインバウンド大幅にも増えて入館者が増加した。やはり65歳以上の利用者が多く収益には結びつかない来場者も多かったが、収益は前年度を大きく上回っている。観光施設としての「おもてなし精神」を発揮し、どの年代の来場者にも気持ちよく過ごして頂けた。 ◆継続イベント:①日本赤十字社チャリティーイベント「河原町春フェスin河原城」(旧春の大茶会)は今年度も茶会に複数のイベントを同時開催させるスタイルで開催したが、各イベントとも前年度程の伸び率はなく、お茶会への参加も少なかった。(河原町検定～QRでクイズラリー！[4/26～5/6]、恒例！ご当地アイスフェア[5/3]、発見！全国ご当地カレーフェア!![5/4])広報不足が原因と考えられたので、以降のイベント・その他では広報の強化を意識した。 ②「河原城月見会」は前年度に続き、長引く猛暑や河原地域の各イベント開催に被らないよう10月上旬に開催した。今年度も昼・夜2部制の開催。コロナ前までは地元小学校が「あゆ太鼓」で昼の部に出演していたが、学校の働き方改革も手伝って今年度からは完全に出演が望めなくなったことが残念だが、夜の部への中学生の出演は継続中。今年度は天候が悪く来場者数に不安があったが、前年度に続き多くの集客があった。夜の部の途中から本降りとなったが、一部の来場者はテント内に避難しながら最後まで楽しんで頂けた。スタッフの対応や出演者の頑張り・来場者の協力で、雨の中にもかかわらず会場の雰囲気は大変良く、かえって不思議な一体感があり近年稀にみる素晴らしいステージだったと自負しています。 ◆管理運営については、近年の物価高騰の対策のために出来る限りの経費節減に注力し、設備・其の他のメンテナンス及び清掃等を心掛けた。毎年の事だがイベント広場の身障者用トイレの故障(排水管の詰まり)が多く、このことについては周辺の整備と併せてかなり以前から所管課に相談しているが、高額な経費を要するため費用対効果を考えるとなかなか進まないのだから、毎年の修繕費(年間の修繕費を越えることも多々ある)を考えると経費節減のためにも根本的な解決策(修繕)を早急に対応しなければいけないと考える。今回も所管課にいち早く報告し対応について相談したが、市の方針で洋式の多目的トイレの普及にむかって準備を進めているようで、修繕の予算化は出来なかった。引き続き所管課に対応策について相談していきたい。 アンケート調査は今年度も概ね好評だったが、来場者が増加するとともに、エレベーターや飲食スペースの設置、宿泊施設としての利用を臨む声が、コロナ前のように徐々に高まっている。その他要望については出来るだけお応えできるよう努めている。 ◆イベント・地域振興については、上記の詳細にもあるように体験観光、トレッキング、ガイドウォーク、バスツアー、郷土史研究(座学・ワークショップ・フィールドワーク等)など開催できた。美化・保全活動など地域協働作業や、町内の催事運営協力・学校教育協力(総合学習時間での郷土史・文化の普及継承)なども例年通り活動できた。周辺施設・行政・商工会等や民間団体との事業運営などの概ねでき、山陰海岸ジオパーク南部地域のエリア拡大に向けての活動も進めることができた。特に今年度も干支関連の神社と周辺の歴史に防災が関係した内容が多く、南エリア以外の地域も加えたバスツアーにおいて新機軸な提案が成功した。用瀬・佐治の関係団体・個人などとの連携も良好。ジオパーク推進協議会の行動計画の発表により、地域の魅力づくり・情報発信などの活動や商品開発への機運も徐々に高まり始めた。 ◆まとめとして、指定管理4期目最後の今年度は来場者も増加して特に下半期の2～3月は観光シーズンの期待感が高まった。来場者の増加をこのまま維持し、次年度はさらに上回る利用者拡大を目指した営業努力(広報の更なる強化、特別展・その他イベントの企画内容の充実、開催の工夫)に努めたい。また、引き続き高騰する物価への軽減対策と、継続する事業の一つ一つへの取り組み、利用者の立場にたった丁寧な「おもてなし」対応で、河原城及び河原地域の魅力度アップを充実させたい。そして地域のコミュニティー・憩いの場として安全・安心・快適にご利用していただけるように信頼を維持し管理業務に努め、一層のサービス向上を図りたいと思います。
施設所管課	今年度は、指定期間中の年間利用者が最も多い年となった。 引き続き、地域イベント等を実施し、河原町の魅力向上を図り、地域振興の観光拠点と努めていただきたい。

【資料1】

令和7年度指定管理業務年間実施計画・実施状況表

施設名	河原町お城山展望台
-----	-----------

1. 設備等点検業務

項 目	周 期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備 考
展望台総合巡視点検 (機械警備、マジカルビ ジョン等)	毎日	予定	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	
		実施	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	
		結果	良好	良好	良好	良好	良好	良好	良好	良好	22日：不具 合箇所確認	良好	良好	良好	
		対応									所管課に 連絡				
消防設備定期点検	法定に よる	予定				14日						1月5日			
		実施				14日						1月5日			
		結果				良好						良好			
		対応													
公園総合巡視点検 (公園施設、樹木等)	毎日	予定	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	
		実施	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	
		結果	良好	良好	良好	良好	良好	良好	良好	19日：谷 一木進入 路法面土 砂崩れ発 生。	良好	3日：大雪 による倒 木発生 6日：地震 による土 砂崩れ発 生（谷一 木進入路）	大雪による 倒木多数 （谷一木進 入路）	大雪による 倒木多数 （谷一木進 入路）	
		対応								26. 27 日：修復工 事完了。 梅林公園 剪定作業。		9日：土砂崩 れ箇所土 嚢設置工事 完了	5日：駐車場 側トイレ蛇口 修理。倒木 一部伐採 （雪下ろし）	倒木一部伐 採・撤去	

2. 清掃等業務

項 目	周 期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備 考
日常的な整理整頓等	毎日	予定 実施	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	
トイレ清掃	毎日	予定 実施 備考	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	
施設内床清掃	毎日	予定 実施	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	
施設内床ワックス掛け	3/年	予定 実施			31日 31日			8日 8日				10日 10日			
ガラス拭き	毎日	予定 実施	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	
駐車場内清掃 (ごみ拾い等)	毎日	予定 実施	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	毎日 毎日	
ごみ収集:可燃(月・水・金)プラ (火・金)古紙(火)	必要時	予定 実施	毎回 毎回	毎回 毎回	毎回 毎回	毎回 毎回	毎回 毎回	毎回 毎回	毎回 毎回	毎回 毎回	毎回 毎回	毎回 毎回	毎回 毎回	毎回 毎回	
公園樹木剪定	必要時	予定 実施			3～9日 14日					26日 26日		3日 3日			
公園草刈	予定 実施	予定 実施	19.21～24日 19・21～24日:谷一木進入路、梅林公園散策路、公園草刈り	24日・27日 24日:谷一木進入路草刈り 27日:散策道草刈り(枝折れ撤去作業)	28日・29日 28・29日:谷一木側進入道路草刈り	28、29日 26～30日:谷一木側進入道路～散策路～梅林公園～古墳草刈り 27日:花壇に防草シート設置	25～29日 22～28日:谷一木進入道路・散策路草刈り	2～7日 1日:台風10号の被害木等の撤去 2～7日:谷一木進入路・散策路・水飲み場周辺・東屋から古墳草刈り	8・21日 8日:イベント広場芝刈り。 21日散策路草刈り	26・27日 梅林公園剪定作業	16・26日 16日:中央公園内樹木選定作業。 26日:谷一木進入路法面倒木により撤去作業	3・6～9日 3日:谷一木進入路法面倒木により撤去作業。谷一木進入路土砂撤去土嚢設置	10日 10日:大雪除雪(谷一木進入路道)、大雪による倒木多数・広範囲。公園散策路倒木撤去。	6・14日 6.14日:古墳周辺倒木撤去作業。	

3. 危機管理

[illegible]

4. 利用者満足度調査

項 目	周 期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備 考
利用者満足度調査	2／年	予定	1から30日	1から31日	1から30日	1から31日	1から31日	1から30日	1から31日	1から30日	1から31日	1から31日	1から28日	1から31日	

5. 事業報告等

[illegible]

6. 事業・イベント等

項 目	周期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備 考
かわはら町 春フェスin河原城 (旧春の茶会)	1／年	予定	4月26日～5月6日												
		実施	4月26日～5月6日												
河原城月見会	1／年	予定							10月12日						
		実施							10月開催						

7. 事業・イベント等(自主事業分)

[illegible]

[illegible]

【資料2】

施設名 河原町お城山展望台

1. 施設利用者数

(単位: 人)

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
項目	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
大人	12,000	3,030	5,800	3,605	5,800	4,528	7,750	7,016	8,800	7,520
小人	3,200	1,349	1,700	1,068	1,700	1,296	2,050	1,930	2,600	2,517
公園利用者	14,800	6,461	7,500	6,510	7,500	6,014	10,200	7,864	8,600	9,019
合計	30,000	10,840	15,000	11,183	15,000	11,838	20,000	16,810	20,000	19,056

2. 事業収支

(円)

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
項目	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
指定管理料(展望台)	20,226,000	20,226,200	20,226,000	20,226,000	20,226,000	20,226,000	20,226,000	20,226,000	20,226,000	20,226,000
物価高騰による支援金				624,986		86,000				1,134,137
入館料	1,500,000	620,200	600,000	794,700	600,000	898,100	900,000	1,232,850	1,200,000	1,351,300
自主事業収入(自販機除く)	1,800,000	355,719	300,000	330,054	300,000	528,993	400,000	725,348	400,000	1,066,551
自販機収入(3台分)	250,000	115,474	250,000	115,474	250,000	82,827	150,000	118,180	50,000	69,182
収入計(A)	23,776,000	21,317,593	21,376,000	22,091,214	21,376,000	21,821,920	21,676,000	22,302,378	21,876,000	23,847,170
支出計(B)	23,350,000	20,257,482	21,368,000	20,772,761	21,368,000	21,512,161	21,673,000	21,777,598	21,563,000	22,994,253
事業収支(A-B)	426,000	1,060,111	8,000	1,318,453	8,000	309,759	3,000	524,780	313,000	852,917